

歳出のうち主な取組みについて、各部・課ごとにご紹介します。また、各部・課のご紹介のうち「◆」のものは、平成22年度の新規の事業と位置づけているものです。

議会事務局

議会事務局（☎63-8810）

☆広報事業（議会だより）として・・・160万2千円

小城市議会の内容を市民の皆さんにお知らせするため、「市議会だより」を年4回発行します。

総務部

総務課（☎63-8818）

☆広報事業として・・・2,952万8千円

市の行事・地域の催事等を広報し、市民の皆さんが市政への関心や理解を深めていただき、市民主体のまちづくりを推進するため、「小城市報さくら」を毎月2回発行します。また、昨年度に引き続き、小城市の広報番組の制作やホームページの機能向上などに取り組みます。

※「小城市報さくら」では、民間企業等の事業活動を促進するため、有料による広告掲載を随時募集しています。



小城市ホームページ

☆消防施設整備事業として・・・1,807万8千円

安全・安心な暮らしの実現及び防災・安全対策として、消防施設・設備の機能を維持するため、消火栓ボックスの設置や小型ポンプ付き消防積載車（2台）を更新します。



小型ポンプ付き消防積載車

☆消防団員への報酬など消防団運営費として・・・8,191万4千円

☆佐賀中部広域連合（佐賀広域消防）への負担金として・・・6億754万5千円



県操法大会4位入賞

☆区長報酬や区長連絡協議会などの区長会運営の経費として・・・7,223万7千円

☆新規採用職員や管理者職員などの研修費用として・・・221万3千円



☆防犯対策費として・・・666万6千円

安全・安心な暮らしの実現及び地域の防犯・安全対策を図るため、小城地区防犯協会への負担金や、地区内の防犯灯設置の一部補助などに取り組みます。



地区内の防犯灯設置

選挙管理委員会事務局 総務課内（☎63-8806）

☆参議院議員通常選挙費として・・・2,244万7千円

☆佐賀土地改良区・芦刈町土地改良区総代選挙費として・・・80万円



◆合併振興基金積立事業として・・・5億円

市民の連携の強化及び一体感の醸成並びに本市の振興を図るため、合併特例事業債（市債）を活用して「合併振興基金」を設置し積み立てを行います。

積立金のうち、元金から生じる運用益（利子）はソフト事業に、また、合併特例債（市債）の返済が終わった範囲内で基金設置の目的に応じた事業に活用しません。



◆総合計画後期基本計画策定事業として・・・671万2千円

小城市のまちづくりの指針となる総合計画は、基本構想と基本計画で構成されています。基本構想は平成19年から平成28年度、基本計画は平成19年から平成23年度の計画期間です。

今年度は、この基本計画の進み具合や問題点を洗い出すとともに、市民の意識の変化などを把握するために、市民アンケート調査を実施します。



小城市総合計画

☆地域公共交通活性化事業として・・・1,393万1千円

市内で運行している巡回バス、広域循環バス、コミュニティタクシー等の利便性の向上を図るため、利用者の生活に合わせた運行ルート・ダイヤなどの調査を行い、実証運行を継続します。併せて、バス待合所の設置やバス停の変更などに取り組みます。



☆国勢調査受託事業として・・・1,561万3千円

国勢調査は、統計法に基づき、国内の全ての世帯・世帯員を対象として5年毎に実施される国の基幹統計調査です。

今年度は、その年に該当し、10月1日を基準として男女別・年齢別人口、世帯数、就業状況などの実態把握を行います。また、この結果は、様々な行政施策などの基礎資料として活用されます。



国勢調査のキャラクター

☆本庁舎増改築事業として・・・1億85万4千円

本庁舎への移行に向けて、既存の三日月庁舎の改築及び増築庁舎の建設に取り組んでいます。今年度は、駐車場拡張のための造成工事を実施します。



三日月庁舎

☆スローライフ推進事業として・・・80万9千円

質の高い美しいまちをつくりあげるため、総合計画の1つの戦略プロジェクト「宝びかびか輝きプロジェクト」の中で掲げるスローライフなまちづくりの推進について、市民の皆さんとともに計画的に取り組めます。

今年度は、「おぎにり」づくりやスローライフな情報発信に市民団体とともに取り組みます。



☆ともに認め合い、支えあい、希望あふれる小城市のための男女共同参画推進事業として・・・210万3千円

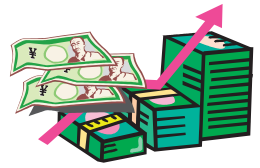
☆市民の皆さんと協働のまちづくりを推進するための市民協働推進事業として・・・1,440万7千円



財政課 (☎63-8804)

☆地方債の償還金として・・・27億3,064万円

過去に銀行や国から借り入れた地方債(資金)のうち、金利の高い地方債が財政に影響をきたす要因の一つとなっています。そこで、借金の将来負担の軽減を図るため、今年度も昨年度に引続き、6億3,744万7千円の元金を繰上げて返済し、利子の負担を抑制します。



☆行政改革推進事業として・・・225万3千円

☆庁舎(小城・三日月・牛津・芦刈)の維持管理費として・・・7,779万8千円



会計局 (☎63-8805)

☆会計の事務を行うための経費として・・・131万円



監査委員事務局 (☎63-8810)

☆監査の事務を行うための経費として・・・226万1千円



市 民 部

市民課 (☎73-8800)

☆旅券(パスポート)発給事業として・・・71万6千円

市民課(小城庁舎)では、市民の皆さんが海外旅行の際に必要な旅券(パスポート)の発給を行っています。



☆消費生活相談などを行うための消費者行政事業として・・・225万5千円

税務課 (☎73-8801)

☆佐賀県滞納整理推進機構負担金として・・・20万円

佐賀県と県内17市町では、共同して個人住民税などの滞納額を減らすため、差押などの滞納整理に取り組む組織として「佐賀県滞納整理推進機構」を平成21年4月1日に設立しました。設置期間は、平成21年度から平成23年度までとなっています。



☆市税等滞納整理事業(インターネット公売)として・・・3万1千円

市税などの滞納処分を図るため、情報伝達力や利便性の高い「インターネット公売」を活用し、車などの差押物件を換金につなげるよう取り組みます。

※インターネット公売とは、インターネットオークション運営会社と利用契約を締結した上で、滞納処分により差押えた動産などを出品し、インターネットを通じて広く周知し公売する仕組みのことです。



☆平成24年度実施の固定資産の評価替えに係る固定資産標準宅地の鑑定価格委託料として・・・1,836万5千円

国保年金課 (☎73-8802)

☆国民年金受託事業を行うための事務費として・・・71万1千円

☆国民健康保険特別会計への繰出金として・・・2億1,353万7千円

※一般会計で受け入れた国からの資金等を一定のルールで繰出すものです。

☆後期高齢者医療特別会計への繰出金として・・・1億3,265万1千円

☆佐賀県後期高齢者医療広域連合への負担金として・・・4億2,766万8千円



環境課 (☎73-8803)

◆廃棄物中継センター運営費として・・・6億1,035万3千円

小型収集車により市内一円から収集したごみを、廃棄物中継センターで大型パッカー車に積み替え、唐津市内にある佐賀県廃棄物処理施設「クリーンパークさが」へ搬送して処分します。



廃棄物中継センター

☆粗大ごみ等処理事業として・・・496万8千円

廃棄物の適正処理、資源化及び不法投棄の防止を図るため、市民の皆さんの各家庭にある粗大ごみを有料（1品500円、2人掛けソファ・ダブルベッド等は1,000円）で回収しています。



ごみ減量化推進の説明会

☆ごみ減量化推進事業として・・・176万4千円

ごみの減量化を推進するため、一般家庭から出るごみの分別や堆肥化等の処理に要する「生ごみ処理機器」や「ごみ減量化容器（くうたくん）」の購入に対する費用の一部を補助します。

☆ごみの再利用・再資源化事業として・・・3,097万8千円

ごみ減量化及び循環型社会を推進するため、各行政区の指定された場所で毎月第1水曜日から第4水曜日までの各週に種類別の資源物収集を実施します。

【収集資源物】※詳しくは、小城市ごみ分別カレンダー又は小城市のホームページをご覧ください。

- ◎古紙類・容器包装プラスチック・発泡トレイ・ペットボトル等・・・毎月第1～第4水曜日
- ◎スチール・アルミ缶・・・毎月第3水曜日
- ◎廃食油・・・各庁舎に収集ボックスを設置
- ◎硬質プラスチック・・・毎月第1水曜日
- ◎剪定くず・木くず・・・廃棄物中継センターで収集
- ◎古布・・・廃棄物中継センター・資源物収集場で収集



☆全国名水サミット事業として・・・120万円

全国水環境保全市町村連絡協議会と小城市が、水環境の保護の推進と水質保全意識の高揚を図る目的で開催する全国大会「全国名水サミットin小城」の運営費用を補助します。



☆簡易水道特別会計への繰出金として・・・271万6千円

☆西佐賀水道企業団・佐賀西部広域水道企業団への負担金として・・・2,601万円

☆天山地区共同衛生処理場組合への負担金として・・・1億4,805万円

☆天山地区共同斎場組合への負担金として・・・3,519万2千円